

2003

楽しかったイベントのヒトコト

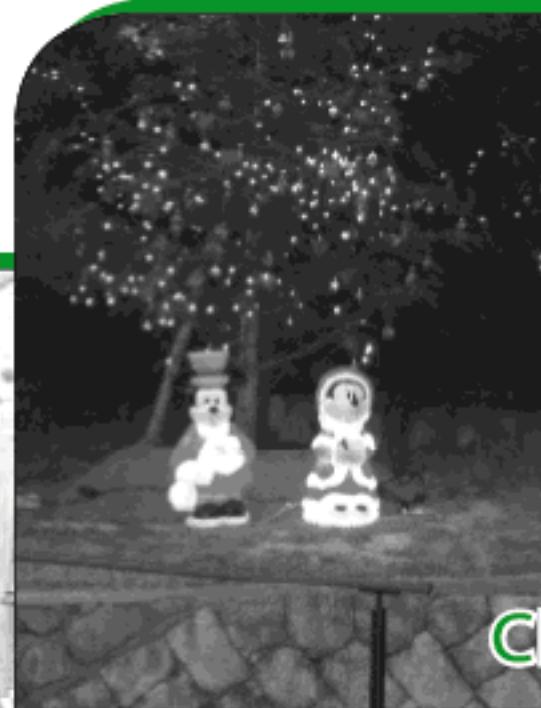
★10月3日リコーダー・ストロー笛奏者神谷徹氏によるストローパフォーマンスが行われました。神谷さん自作のストロー笛からは聞いたこともないような不思議な音色がするよ。



サンタクロースとトナカイがやってきたよ
みんなプレゼント受け取ってくれたかな?



★12月15日にライオンズクラブ主催による「クリスマス会」が行われました。生の歌とピアノでみんなが大好きな歌をいっぱい披露してくれました。



Christmas

★こども病院職員有志によりクリスマスツリーなどがロビー・正面玄関前ロータリーに飾られました。ご覧になられましたか? 病院職員より患者様・ご家族様へのささやかなプレゼントです。

クリニカルパスとは？

兵庫県立こども病院
クリニカルパス委員会 西島栄治

この数年間に、多くの県立病院や大学病院、大きな総合病院で、クリニカルパスと呼ばれる眼に見える形の基準となるスケジュール表が使われるようになってきました。医療の分野では、安全に気を配りながら、無駄を省き、しかも親切で心地よいケアの提供をめざしています。そのためには、今から提供してゆくケア（検査や投薬、点滴、さまざまな処置や手術、看護、医療相談などすべてを含む）の見通しをもつことが非常に有効です。全体の見通しを持つために目に見えるスケジュール表が大いに役に立ちます。これがクリニカルパスといわれる表のことです。

医療を受ける患者さんの側からみると、自分がどんな検査や処置をどんな予定で受けしていくかがわかり、手術や薬の治療の結果、いつ頃に元気に回復して外泊や退院ができるようになるかが理解しやすくなります。節目節目で質問をすることで、わかりやすい説明を受けることができます。自分の受ける治療の計画に自分の意見を反映しやすく

なります。あらゆる処置・ケアを納得して受けることにつながります。

医療を提供する側は、計画をたてる段階で、あらゆる検査や処置・ケアの内容を、その順序、身体が受ける負担の程度、費用、予想される回復のスピードなどの点から、十分に検討することになります。つまり、このスケジュール表の中には病気の状態に応じた治療を受ける明確な目標と、目標を達成するための明瞭な計画とが設定されることになります。診療の質を良くするためにには、診療の内容が明確になっており、誰がいつどこでなにを提供するかが具体的に明確に記載されている必要があります。この基準となるスケジュール表にのっとって毎日の医療行為を評価することで、患者さん毎の問題点が整理され、その対策を講じることができます。患者さん毎に対策を講じることが診療の質の向上をもたらすわけです。クリニカルパスを使用すること自体が自動的に診療の質を向上させるわけではありません。

患者さん用にわかりやすく図解をいたしました。各疾患毎のスケジュール表がお手許に届くようになります。どうぞ、そのスケジュール表（「バス」と呼びます）を使ってまわりの職員に何でもお訊ねください。

◆「卵の中にある白いひものようなもの」その正体

栄養指導課長 下浦佳之

前回号で「ズームアップ栄養」の概要を紹介させて頂きましたので今回は実際に何かにズームアップしてみましょう。

卵の中にある白いひものようなもの、その正体は？

卵を割ったら黄身にくっついてる白いねじれたひも状のもの。

さてなんでしょう？いろいろな人に意見を聞くと、「心臓かなと思う」「ひよこの眼」「細胞の分裂したもの」「卵のうんち」等々答えはバラバラです。その正体は、「Chalaza」

カラザ（ラテン語）

「カラザ」は卵の殻の中で、黄身が常時中心に位置するためのバネの役割を果たすもので、文字通りバネの形をしています。

卵の黄身に衝撃があった時に壊れないよう卵の中心に安定させるための、いわば車の安全ベルトの

安心だね



ような役割を果たして黄身を支えています。

通常は、左右対称に2つついていて、殻が新鮮であればあるほど、カラザも堅く形がはっきりしているので、カラザを確認することで卵を割った際に鮮度を確認することが可能となります。

カラザの主な成分は「シアル酸」といい、この物質は人間の身体では主に細胞の一番外側にあって細胞を保護します。

細胞に近づく「良いもの」「悪いもの」を見分けて細胞を保護する役割を果たしている「細胞のセンサー」のようなものです。

ウィルスなどの外敵が近づいて来ても、シアル酸のセンサー機能が働いて、異物と判断してはね除けるのです。

つまり卵のカラザは細胞破壊から身を守る正義の味方「カラザマン？」なのです。

にわとりの細胞が持つシアル酸の構造は人間と同じタイプなのだとそうです。

にわとりの産む卵は、他の食べ物に比べて最適なシアル酸の供給源となります。

気持ち悪いと思って取り除いて食べないのは大きな間違いですよ。

◆医療費助成制度について

前回は、乳幼児医療についてご紹介いたしましたが、今回は小児慢性特定疾患治療研究事業についてご紹介します。

小児慢性特定疾患とは・・・？

慢性の疾患で、治療が長期に渡り、医療費も高額となります。国、又は都道府県によって指定されている疾患です。

当事業は、治療研究の推進、対象患者の経済的負担の軽減を目的としています。

<対象者>

国が指定した疾患に該当する18歳未満の方（20歳まで対象となる疾患もあります）

<助成内容>

疾患にかかる治療費が全額助成されます。

- ◆疾患にかかわりのない医療費、また保険適用外の医療費（薬の容器代等）については助成対象外です。
- ◆疾患によっては、入院治療費用のみが助成対象となり、通院費用は対象外となるものがあります。
- ◆入院の際の食事負担金は助成の対象ですが、被服等貸与料は対象外です。

<申請方法>

診断書（病院にあります）、保険証、印鑑を持参の上、居住地の保健所にて手続きをします。

* 診断書料金は無料です。

当事業は、保健所で申請手続きをした日から有効となるため、担当医より診断をされた方は、早い段階での手続きが必要です。

各種制度や、医療費に関するご質問・ご相談はお気軽に総合受付内・医療ソーシャルワーカーまでお尋ねください。

◆「新しくなったCT装置」



生まれ変わったCT室の“キリン”のドアを開けたら
“どんぐ森”が見えるかな。
芦原龍彦

CT装置が新しくなり、2月から稼動しています。CTとはX線を用いて体の断層像を得るもので、検査中は台に寝て静止して行います。新しい装置は、以前のものに比べ格段に性能が向上し、短時間で広範囲の細かな画像を得る事が可能となりました。例えば、腹部の検査では呼吸停止を十数回くり返し10分程度かかっていたものが、10秒程度の呼吸停止を1回行うだけで終了します。体が動くと綺麗な画像が得られないのは以前の装置と同じですが、短時間で検査が終了するため、睡眠を伴う検査でも途中でやり直す事はなくなると考えています。室内はレントゲン撮影室と同様に、装置本体をはじめ壁や床に森をイメージしたアニマルシールを張って楽しい雰囲気作りを心がけました。そして、暗視用監視カメラを設置したり更衣スペースを確保したり、安心して検査を受ける事ができる、親しまれる場所にしたいと工夫しました。

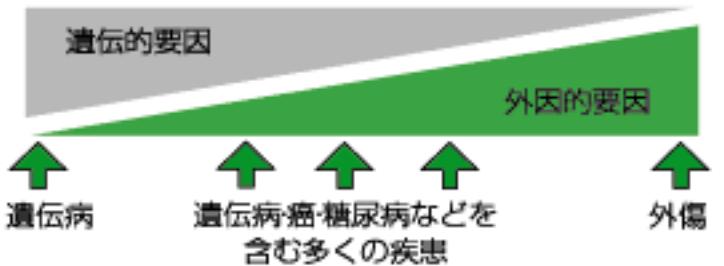


遺伝子検査について

遺伝子検査が役に立つ疾患と言えばどの様な病気を想像されますか。まず、“遺伝”という言葉から先天的で家系に遺伝する疾患を調べる検査というイメージがあり、ごく限られた疾患に対する検査という感じがします。しかし、実際にはそれだけではありません。遺伝子異常が関与する割合に基づき疾患を分類した場合（図1）、遺伝子異常が主原因である遺伝病と、その異常が関与しない

図1. 疾患と遺伝子異常の関係

多くの疾患は遺伝子異常と外因的要因の両方に影響を受ける



外傷が相対します。そして、白血病・内分泌異常・循環器疾患など、多くの疾患が遺伝子異常と外因的要因の両方に影響を受けます。そのため、遺伝子検査は幅広い疾患に役に立つと言えます。また、微生物の遺伝子を調べることにより、感染症の高感

検査は幅広い疾患に役に立つと言えます。また、微生物の遺伝子を調べることにより、感染症の高感度・迅速診断にも利用できます。最近では、SNPsと呼ばれる遺伝子の多様性を検査することにより、個々の体質に応じた治療（オーダーメイド治療）を実現する国家プロジェクトが進行しており、近い将来、遺伝子検査の重要性が再認識されることになります。

一方、私が所属する遺伝子研究班の調査では、何故か？関西地区では院内に遺伝子検査室を持っているところが少なく、当院にも遺伝子検査室がありません（大昔はあったのですけど…）。しかし、こども病院全体が遺伝子検査に無縁と言う訳ではなく、当院の遺伝子診断に明るい先生方は、自費研究や外部の検査センターに依頼して先端医療に利用されています。そこで、我々の検査室でも遺伝子検査を開始して①高度医療を推進する臨床医のサポート②外注検査費を削減③ウイルスなどを含む感染症診断の充実④感染症の分子疫学調査による院内感染対策などを立ち上げては如何でしょうか！未だに「遺伝子検査は研究目的の検査だから…」と言われる方いらっしゃいますが、決してその様なことは無く、確実に臨床検査の中にに入って来ています。多少の投資は必要ですが、こども達の健康のために遺伝子検査を有効利用して行きましょう。

オランダの「クリニクラウン」がやってきました。



「クリニクラウン」は1980年代半ばにアメリカにはじまり欧米諸国に急速に広まったといわれています。看護の面だけでなく、医学的にもその効果が発表されクラウンが病院を訪問するという習慣が一般的なものになっているそうです。しかし、日本ではほとんど知らないため今回、オランダ総領事館文化部ヨルン・ボウホルベン氏とがんの子どもを守る会関西支部の紹介により、お受けする運びとなりました。

オランダでは、長期入院生活や心身に障害をもつ子供の病室や施設をクラウン（道化師）が訪問して一緒に遊んだり、パフォーマンスを見せる活動が盛んに行われているそうです。

子供に笑いや遊びを届け、病気の苦しみや辛さから一瞬でも解放し入院生活のクオリティ・オブ・ライフを高める役割を担っているそうです。

今まで、私たちは決して子供達の入院生活や病気による子供の成長発達の機会をお

ろそかにしていたわけではないのですが、今回のクリニクラウンの訪問を受け、医療従事者だけでなく社会の中で子供の成長発達にかかわり、未来の子供達を大切に育てていくオランダの姿勢に感動いたしました。

初めてのことでしたので、どのような対応をされるのか多少不安でしたが、緊張していた7階血液病棟の子どもたちやご家族もパフォーマンスがはじまると次第に顔もほころび、魅了されました。

治療のためベッドにぐったりと横になっていたA君は起きあがってクラウンと回りをしたり、風船と一緒にふくらませたり、クラウンのあとを追ってパフォーマンスが終わるまで遊びました。また、入院して一度も笑ったことのなかったNちゃんは、パフォーマンスにじっと耳を傾けそして入院して初めて笑顔を見せてくれました。クラウンの訪問により短い時間でしたが、子供達は一瞬苦しみや辛さから解放されたのではないかでしょうか

今後、病院としてどのような形でクラウンの訪問を受けていくかは未定ですが、病気や障害をもっていても子供は社会の大切な子供達です。大切にみんなで見守っていきたいものです。



◆お薬こんな時どうしたらいいの？ シリーズ第4弾

●「どうしよう！こなぐすりが湿気ちゃった！」
薬局窓口では、「お薬はどのように保管したらいいのですか？」という質問がよくあります。基本的にお薬の袋に書いてあるとおりに保管してください。

[こなぐすり]

こなぐすりやドライシロップは、直射日光や湿気を嫌います。ふたのできる缶や密封容器に、乾燥剤と一緒に入れて、こどもさんの手の届かないところに保管してくださいね。

[錠剤]

錠剤はほとんどがアルミ包装になっていますが、直射日光や湿気はできるだけ避け、こなぐすりと同じように缶や密封容器に入れて保管してください。そして飲ませる直前に取り出して、飲ませてあげてくださいね。

[みずぐすり・シロップ]

みずぐすりやシロップは、指示がなければ冷蔵庫で保管してください。ただし、冷蔵庫で保管するとお薬の結晶が出るものもあります。そのものにはお薬の袋に、「室温で保存してください」と指示がありますので、注意して見てくださいね。

また、みずぐすりやシロップはピンクや水色などの色がついていたり、甘い匂いをつけてあったりします。こどもさんがジュースと間違えて飲まないよう、冷蔵庫の奥のほうに入れるなど、こどもさんの目の触れないような場所に保管してくださいね。

成分が沈殿していることもありますから、使用す

る前には泡立たないように静かに、でもしっかりと混ぜてから飲ませてあげてくださいね。

また、みすぐすりとこなぐすりが一緒に出ている場合は、1回分を飲ませる直前に混ぜるのは構いませんが、混ぜたらすぐに飲ませてあげてくださいね。時間が経つと変質したり、効果が落ちたりします。

[外用薬]

基本的に開封しても室温で保管しても構いません。ただし、下のお薬は少し注意が必要なので、気をつけてくださいね。

☆点眼・点耳薬

…開封したら冷蔵庫に入れてください。ただ、点耳薬などは冷たいまま使用すると、痛みを感じたりめまいを感じたりすることがありますので、そういう時は手で少し温めてから使用してくださいね。

☆坐薬

…なるべく冷蔵庫に入れてください。元々体温で溶けるようになっていますので、温かいところでは軟らかくなってしまいます。

ここに上げた保管方法は、基本的なものです。なかにはお薬によって違う保管方法のものもありますので、分からぬことがありますたらいつでも薬剤部窓口で聞いてくださいね。

*他の病院や診療所にかかる時は、そのときに飲んでいるお薬を持参されるか、窓口でお渡ししているお薬の説明書を持参してくださいね。他院で、お薬の重複や飲みあわせのチェックを正確に行うためです。窓口では、その日のお薬の名前と量を、お薬手帳に貼れる大きさに印刷してお渡しすることもできますので、必要な方は窓口でおっしゃってくださいね。



また、17時30分からの職員向けのワークショップでは、クラウン財団の活動の報告をお聞きしました。オランダでは、クラウン財団が設立され専門的なトレーニングをきちんと受け教育された人たちが病院を訪問しています。そのため病院との信頼関係も厚いとのことでした。ワークショップ終了後もいろいろな質問をクラウンに投げかけ、なごりがつきませんでした。



オランダからいらっしゃったクリニクラウン財団やオランダ総領事館の方、クラウン4名の方、がんの子供を守る会関西支部の方々そして、いつも外部からのボランティア活動をサポートしてくださるアメニティ委員会（ボランティア部会）の皆様方お疲れさまでした。

2004年1月15日 看護部 能村真美子



◆患者意向調査の実施とその結果パート2

アメニティ企画向上委員会 笹山美代子

本号では外来調査結果の報告とし、入院調査結果については次号と致します。

(ただし、紙面の都合で要約文になりますことをご了承下さい)

当院での結果については、幹部会・運営協議会・アメニティ企画向上委員会で報告し、各関係部門で改善に向けた取り組みをしています。

	設問	回答結果	何が問題か
職員について	1.医師について	1.病状・治療方法の説明 問題なし74% 問題あり16% 2.相談に対する対応・態度 問題なし73% 問題あり27% 3.基本的接遇態度 問題なし79% 問題あり21%	1.病気の種類・現在の病状説明 2.自由に相談できる雰囲気 3.励ましやいたわり、温かみのある態度
	2.看護師について	1.看護の方法・療養生活支援 問題なし81% 問題あり19% 2.相談に対する対応・態度 問題なし84% 問題あり16% 3.基本的接遇態度 問題なし86% 問題あり14%	1.ケアの丁寧さ 2.自由に相談できる雰囲気 3.励ましやいたわり、温かみのある態度
	3.薬剤師・医療技術者について	1.薬局での説明、検査の説明 問題なし80% 問題あり20% 2.相談に対する対応・態度 問題なし91% 問題あり9% 3.基本的接遇態度 問題なし93% 問題あり7%	1.薬の作用・副作用の説明 2.相談できる雰囲気 3.励ましやいたわり、温かみのある態度
	4.受付や会計職員について	1.受付・会計時の説明・掲示 問題なし75% 問題あり25% 2.基本的な接遇態度 問題なし76% 問題あり24%	1.会計時の医療費の説明 2.態度
	上記職員に対するご意見欄5.6. (自由記載)	5.医師・看護師・薬剤師・医療技術職 総コメント数137 不満足81 満足56 6.受付・会計職員 総コメント数125 不満足112 満足13	*上記1.2.3.4.の職員の接遇に係るご意見が多数。 改善・努力が必要
設備等について	7.情報提供について	問題なし 78% 問題あり 24%	・治療実績のわかりやすさ
	8.診療日程診療時間設定について	問題なし 69% 問題あり 31%	・診療日が生活サイクルとあわない ・診療終了時間が早い
	9.診療予約に関して	問題なし 63% 問題あり 37%	・予約手段が不便 ・予約時間が守られない
	10.待ち時間の長さについて	問題なし 28% 問題あり 74%	・診療までの待ち時間 ・会計待ち時間
	11.トイレ待合室等、病院内施設について	問題なし 54% 問題あり 46%	・待合室のイス汚れ ・食堂等の明るさ ・トイレの清潔感
	12.診察室や検査室、処方内容の説明場所について	問題なし 88% 問題あり 12%	・診察室プライバシー ・検査室プライバシーの確保
	13.診療録入手や他院などへの紹介依頼手続きについて	問題なし 91% 問題あり 9%	・ほとんどご意見なし

14.院内移動の安全性や利便性	問題なし 問題あり	89% 11%	
15.駐車場などの利便性	問題なし 問題あり	41% 59%	・立体駐車場への案内図
16.病院の治療内容や設備を含めた全体的印象	問題なし 問題あり	67% 33%	・特にご意見なし

患者さんとご家族の属性

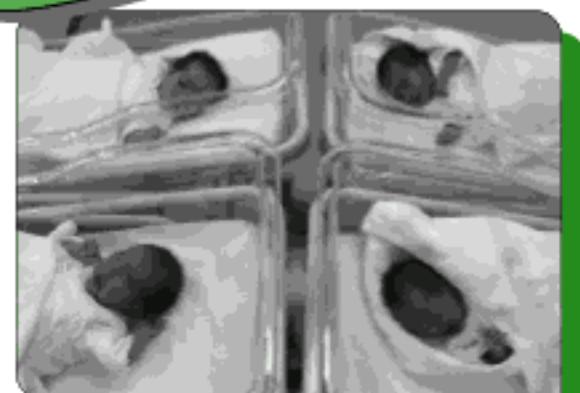
- ◆通院期間→半年以上の人人が49%
- ◆過去1年間の通院・入院経験→経験なしが37%
- ◆初めて当院を受診してからの期間→1~5年が57%
- ◆当院を選択した理由→他院医師からの紹介が78%
- ◆病状の回復状況→順調に回復しているが53%
- ◆病気に対する不安や悩み→少し不安・悩みがある60%

◆産科



産科は病床数は32床、ハイリスク母子の救命を図ることを目的とし、兵庫県全域からのハイリスク母子を24時間体制で受け入れ、妊産婦、胎児の管理を行っています。

- ・帝王切開を除き、希望される方には立会い分娩を行っています。
- ・妊娠中から「どんなお産をしたいのか」を話し合い、可能な限り満足のいくお産ができるように援助しています。
- ・母乳育児推進のため、妊娠中からSMC（お乳の手当てについて）の指導を行っています。
- ・妊娠中から産後まで継続した看護ができるように継続受け持ち看護師が担当しています。
- ・妊産婦とご家族の不安や緊張が少しでも緩和できるように、精神科医師と連携をとり、メンタルケアを行っています





基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一緒にになって子どもたちの健やかな成長を目指します。

基本方針

- 1.子どもの権利を重視した医療の実践。
- 2.安心と信頼の医療の遂行。
- 3.専門的な高度医療の推進。
- 4.地域の医療・保健・福祉機関との連携。
- 5.親と子の健康啓発活動への貢献。
- 6.子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成。

患者権利宣言

- 1.あなたはひとりの人間として尊重され、おもいやりのある医療を受ける権利があります。
- 2.あなたとご家族は、理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報を得て、治療計画に参加する権利があります。3.あなたとご家族は、医療について同意や拒否の権利があります。4.あなたとご家族のプライバシーは守られます。
 - ◆みなさまと私たち職員がお互いを尊重しあい、良質な医療を実現していくけるよう次のことにご協力ください。
 - 病気について理解し、安心して医療が受けられるよう、今までの経過・病状の変化や問題について詳しく正確にお知らせください。
 - 病院のきまりや約束ごとをお守りください。

◆編集後記

今年は3月にはいってからも寒波が襲来し、雪が降ったりしましたが、ようやく春のうららかな日ざしが満ちて、快い季節となりました。病院の周りには様々花が咲いています。少し外へ出て、お子様と一緒に春を感じてみませんか？今季号の担当は田中でした。来

季号は斎藤が担当いたします。どうぞお楽しみに・・・

兵庫県立こども病院広報誌編集委員会
芦原龍彦 池上由香 大橋正伸 摶野朱美
斎藤富美代 田眞貴子 山崎武美

本誌に関するご感想、ご希望、ご質問はこちらまで。

兵庫県立こども病院

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1
TEL078-732-6961 FAX078-735-0910

URL:<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>

E-MAIL:info_kch@hp.pref.hyogo.jp